

令和 6 年度にめざしたいこと (学校運営協議会)

本年度最後の学校運営協議会を 2 月 9 日 (金) に実施しました。今年度の学校評価の成果と課題、学力調査結果を分析したこと、そして 2040 年の社会を見据えて、次年度以降目標としたい子供の姿と重点目標、それを達成させるための方策について、学校としての現在の考えを委員さんと中央っ子を守る会の皆さんと共有しました。本校児童の傾向として、「人の役にたたい。」という思いは全国を上回っているのですが、学習習慣については全国を下回っています。また、自分と違う意見について考えることに苦手さを感じている児童も多いこともわかっています。「なるほど」と思ったことが 2 月 2 日 (金) に実施された志免中体験授業でございまして、本校児童に「中学校の授業はどうだった？」と聞いてみると、「友達と違った意見を言うのは苦手です。でも、友達と一緒に考えることは楽しいです。」とっていました。こうした実態を踏まえて、委員さん方から頂戴した意見を基に、次年度の構想をさらに練っていきたいと思います。

【学校運営協議会委員・中央っ子を守る会の方々のご意見：一部】

- 地域の大人がどのように行動したらよいかを考えさせられます。
- 子供を中心に意見を聞き、リーダーとして地域の行事が進めば一番いいかなと思いましたが、これからの課題です。
- 楽しく勉強するには、勉強することで自分自身が成長していることを実感することが大事。勉強のやり方を教えることも大切ですが、成長していることを褒める、一緒に喜ぶことも必要かと思います。



5年生の参観の様子。委員さんから、「考えの結論から述べて、次に理由や根拠を述べるなど、表現する力が育っている」とご意見をいただきました。



1年生の参観の様子。委員さんから、「成長しましたね。」とご意見をいただきました。



本年度最後の授業参観の様子をホームページに載せています。
←QRコードから

変化していく社会でも、子供たちが幸せに生きていくために私たちができること

子供たちが大人になったときの社会は、予測が不可能な社会であると言われていています。また、デジタル革新によって人とモノがつながることで、様々な知識や情報が共有され、課題や困難を克服していくこともできる社会になるのではないか、とも言われています。このような社会でも、子供たちが生きていくためには 11 月 30 日発行の「中央っ子通信」にも載せましたが、何が起きているのか問題を発見し、解決していくための主体性や粘り強さといった力、また人と関わっていきながら解決に向かおうとする協働性も必要でしょう。なぜなら、計画と実行のエンジンは私たちの意志というよりも、コミュニケーションであり、私たち人間は社会的な動物だから、だそうです。また粘り強さとは、「根性を出していく」というよりも「弾力的に考えたり、柔軟に考えたりすること」のようです。こうした力を子供たちが身に付けていくために、今後も学校と家庭、地域が協働し学校運営してまいりたいと考えます。学校での学びが家庭・地域の実情に応じて生かされる、地域での活動が学校・家庭でも大切にされるようにしたいものです。

デジタル革新により、学校では ICT 利活用を進めていきますが、今も昔も変わらないのは子供同士、大人との人間関係づくりです。今後もお子様との会話を大切にしてください。